

# 平成31(2019)年度 事業計画

## I 基本方針

平成29年度からスタートした『一般財団法人札幌勤労者職業福祉センター新10年経営計画』に基づき各事業を遂行いたします。

主な内容は、公益事業の安定運営、収益的事業の収益強化、地域や関係機関との連携強化、持続可能な経営体制の整備としていますが、一部改修計画については見直しをします。

## II 具体的な取組

### 1 公益事業の展開

#### (1) プール

夏休み、冬休み短期スクールの開催、新規入会キャンペーンなどを継続実施し、利用の拡大に努めます。また、短期スキー教室等を開催し、水泳以外でも健康増進を図り利用者の定着を図ります。

(82,000人の利用を見込みます。)

#### (2) ホール

オペラ公演の継続開催、地域イベントの共催・協力等、地域文化の向上に協力します。既に映画上映会、ダンスコンテスト等を受注しており、多方面にわたる利用に向け、積極的に利用拡大に努めます。

施設の有効利用、音楽ホールの周知を目標として企画、販売している『練習プラン』。利用の伸びが鈍化してきたため積極的に周知を図り、利用の拡大を図ります。

(213件、70,000人の利用を見込みます。)

#### (3) 文化教室

ホームページでの教室の紹介や広場でのチラシ配架などの周知活動を行い、受講者増及び教室の安定運営を図ります。

また、カルチャー祭（文化系教室）並びに発表会（舞踊、ダンス、お琴等）を開催し、利用者の定着と拡大に努めます。

(23,000人の利用を見込みます。)

#### (4) 広場

平成31年度においても、過去に利用実績のあった顧客へのセールスに併せ、多くの来場者が見込める『フリーマーケット』の販売拡大に努めます。

### 2 収益的事業の展開

#### (1) 会議・研修

町内会等を対象とした施設見学会の販売促進、町内会の会合、各企業・団体で開催される会議などへのケータリングの受注増を図ります。

また、宿泊部門のセールスと協力し、全国的な会議の受注に向け、道外セールスを実施。併

せて事務局へのDMの発送、並びに電話によるセールス、エージェントへのセールスを引き続き実施し、受注拡大を図ります。

(2,430件、98,200人の利用を見込みます。)

## (2) 宿泊

今まで利用のあった団体、エージェントに向けDMセールスを実施すると共に会議・研修部門と協力し、道外セールスを実施し好調を維持します。

閑散期対策として、インターネット予約のチャンネル拡大により、外国人旅行者の取り込みを積極的に実施します。

(客室稼働率70.2%、21,600人の利用を見込みます。)

## (3) レストラン

ご法要・会食各自盛プラン、フルコースプランなどの販売、及びシェフお任せコースやサンプラザオリジナルスイーツの充実を図り、利用増を目指します。

ポイントカードの周知を図り、一般利用の方を顧客化し、リピーターを増やします。

メニューでは、卓盛りコースの見直しを図るとともに、北保健センターの協力を得て作成している健康志向メニューの『ヘルシーお膳』、『おすすめランチ』を引き続き提供します。

(98,988人の利用を見込みます。)

## (4) 宴会

定期的な利用の見込める文化団体へのセールス、利用特典の充実や早期受注特典の設定等により受注の拡大に努めます。

調理技能の向上、並びに地産地消に着目した企画である『晩餐会』を年間1回開催します。

(1,190件、56,411人の利用を見込みます。)

## (5) 法要

継続利用時の特典、DMの発送先の見直し、昨年度から実施している地下鉄沿線地区、北区、東区から西区、手稲区、石狩地区へのセールスの継続、49日法要に向けたセールスにより利用増に努めます。

また、開催の都度、安定した受注実績のある法要内覧会を年間6回開催します。

(180件、2,790人の利用を見込みます。)

## 3 地域・関係機関との事業展開

### (1) 労働・雇用関連事業

- ・ 札幌市、労働局が主催、開催する労働・就業関連事業に引き続き協力します。
- ・ 札幌市教育委員会、札幌商工会議所紹介のインターンシップ、並びに近隣小中学校、高等学校のインターンシップを受け入れ若年者の就労支援事業を引き続き行います。

### (2) 地域活性化事業

- ・ 地域活動支援事業  
地元開催の夏祭り等イベントへの会場の提供、「24(にーよん)広場」の活用などに協力し、協同でイベント等を実施することにより地域の活性化を支援します。
- ・ 街づくり事業などの地域活性化支援

『食と花で街づくり』をテーマに街づくり活動をしているスローライフ事業の共催、協力により地域の事業を支援します。

### (3) 地域文化、健康増進事業

- ・ 地元主催のコンサート等に会場を提供し、地域文化の向上に寄与します。
- ・ 健康メニューの提供  
レストランで、健康志向のメニューとして低カロリーな『おすすめランチ』（北保健センター監修のメニュー）、同じく低カロリーな健康志向のメニューである『ヘルシーお膳』（TFT参加メニュー）を引き続き提供し、健康増進の一助となるよう努めます。  
※ Table For Two とは、1食につき、20円を寄付することで開発途上国の子供達に学校給食1食が提供される仕組み。

## 4 その他事業の展開

### (1) その他事業

- ・ E S C O事業  
新たな取り組みとして地下水を一部利用し、資源の有効活用を図ると共に、削減効果の高い実施中のE S C O事業も継続し、CO<sub>2</sub>削減に向けた努力を継続して実施し、環境に配慮した施設管理をします。
- ・ エコキャップ運動への参加継続  
北海道エコキャップ運動へ引き続き参加し、社会貢献運動、ゴミの削減、働く場の提供、難病支援活動を支援します。(平成31年01月：1,586.8kg)

### (2) ホームページ等の積極的な活用

各種イベント、フェア等のタイムリーな情報提供の強化に取り組み、アクセス数の増加を目指します。

フェイスブックをはじめ、今人気のインスタグラム（無料の写真共有アプリケーション）を活用した情報提供など、幅広い年齢層に情報発信をするシステム作りを実施します。